

CSR REPORT 2020

～ともにつくる 笑顔あふれる 未来～





ともにつくる
笑顔あふれる
未来

「ともにつくる 笑顔あふれる未来」にむけて

コープしがが誕生して27年が経過しました。当時の4つの生協が力を合わせて、滋賀県民の豊かなくらしと人間尊重の平和な街づくりをすすめることを目的に、生活協同組合コープしがを設立しました。1970年代、高度成長のひずみにより環境破壊、有害食品の氾濫、健康破壊などの問題が顕在化する中、ゼロからの出発でしたが、生産者とのつながりを築き、仲間を増やし、消費者自身が協同の力で願いを一つひとつ実現してきました。

以来、社会・経済・地域の変化、価値観の多様化、諸問題のグローバル化など様々な変化に対しても、協同組合としての原理原則を大切にしながら、共通の願いの実現を目指してきました。一人ひとりの小さな力を合わせ、違いを認め合い、人と人の絆を大切にしながら。一人ひとりを大切に「人間尊重」、誰もが人間らしく生きるために希求する「平和」、様々な困難な問題を乗り越える「協同の力」。私たちの「協同」は未来に明るい光を照らす貴重な存在です。

社会が大きく変化する今日こそ、コープしがに関わるすべての人とともにめざしていく道標として、コープしがの理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」を策定いたしました。策定にあたっては、組合員、役職員、取引先様から、コープしがへの期待や大切にしていきたい価値などたくさんの声をいただきました。「笑顔があふれる」くらしを、未来に繋いでいきたい。そのために、多くの人と想いや願いを寄せ合って、ともに一つひとつ実現していきたいと思っています。

人と人との「つながり」は、生協内にとどまらず、外に向かって波紋を広げ、紛争や争い、飢餓や貧困など、社会が抱えている問題を紐解き、和らげる力になっていくと信じます。理念には、今を生きる私たちが「つながり」の価値を「次代」に引き継いでいくのだという意思を込めています。

年次の「コープしがCSRレポート」は、一年間の事業や活動で、「笑顔あふれるくらし」にどこまで近づいたのか? 「つながり」がどのように生まれ、広がったのか? その到達を確認する大切な位置づけとして発行しております。

最後に、ご協力、ご支援をいただきました皆さまの、コープしがへの引き続きのご理解とお力添えをよろしくお願いいたします。

2020年6月
生活協同組合コープしが
理事長 白石 一夫



「スパイラル」はコープしがのシンボルマーク。巻貝・波紋・風などの自然を象徴し、さらに求心と拡大、進化の奇跡などの発展を表しています。

INDEX

トピック1：株式会社ハートコープしが	3	共に学び続ける	13-14
トピック2：できるコトづくり制度	4	つながり	15-16
生協とは	5	笑顔あふれる未来のために	17-18
事業概要／市町別組織率	6	事業における環境報告	19-20
組合員の声を聴いて	7-8	コープしがの概要	21
思いをカタチに（事業）	9-12	コープしがのグループ会社	22

コープしがとSDGs

SDGsのめざすものは、コープしがが理念としてめざす「ともにつくる 笑顔あふれる 未来」のゴールと同じです。くらしの営みは、ずっと続きます。私たちが安心して暮らすことを当たり前の価値として取り組んでいる多くの事業や活動は、SDGsの17の目標と何らかの関わりがあります。また、私たちが安心して暮らすために、小さな「私にできるコト」を積み重ね、寄せ合って大きな力になるのが生協です。コープしがは、人が大切にされ誰もが安心して笑顔で暮らせる社会をめざして、組合員、役職員、地域の人々と力を合わせていきます。



トピック1 8 ハートコープしが

ハートコープしがは、農福連携による雇用の創出と循環型社会の実現をめざして設立したコープしがの子会社です。2018年11月に設立し、一人ひとりが社会・地域・組織の一員として、仕事を通じて「誰かの役に立ちたい」「誰かを笑顔にしたい」と頑張っています。

アグリプロダクツ部門では、コープのお店や青果加工センターから出る野菜くずを破砕、脱水してたい肥を製造、そのたい肥などを使って小松菜・ほうれん草を栽培。生産された小松菜・ほうれん草は、コープの宅配や店舗でご利用いただいています。

リサイクル・クリーン部門では、宅配や店舗で回収している商品案内書・仕分け袋・牛乳パックや卵パック、ペットボトルなどを分別・加工しています。店舗で回収した食品トレー・古くなった宅配の保冷箱（シッパー）などの発泡スチロールは減容レインゴッドに加工をします。また、常温の商品をお届けする折りコンテナの洗浄や、冷蔵商品のお届けに欠かせない蓄冷材の洗浄もしています。



野菜くずのたい肥などで、色鮮やかに育った小松菜



店舗や青果加工センターで出た野菜くずは、破砕・脱水・乾燥を経て24時間後にフカフカのたい肥に



額縁の原料などに使われています

発泡スチロールも大切な資源です。減容レインゴッドに加工することで、効率的に輸送でき資源価値が上がります。



宅配の商品を届ける折りコンテナも、組合員の財産です。美しく大切に使用しています。



ハートコープしが
ハートコープしがのコンセプトを表すロゴマーク。土色のハートが大地（農業）、ピンクが福祉、緑が環境、水色がびわ湖です。

職員の声

設立して1年6ヶ月、9人の仲間を迎え入れました。小松菜・ほうれん草の収穫と出荷準備作業、コープしがで回収されたリサイクル品の加工作業などをみんなが助け合いながら、毎日の目標を持って取り組んでいます。今では「自分の目標には届かなかったけれど、仲間を手伝い、チームとして目標に届いた」など、行動指針「仲間のために☆自分のために☆社会のために」をみんなで実践しています。

ハートコープしが 専務取締役 寺田 真一さん



トピック2 8 できるコトづくり制度

生協がめざしているのは「平和とよりよい暮らし」です。その実現には、一人ひとりが「私のできるコト」を積み重ねていくことが大切です。一人ひとりの「私の願い」が人とつながりによって「私たちの願い」になり、「私たちのできるコト」が生まれます。そんな団体を応援しようと創設したのが、コープしが「できるコトづくり制度」です。

この制度は、一步を踏み出す学びの場「できるコトづくり講座」と具体的な活動を資金面で支援する「できるコトづくり助成」があり、運営は、特定非営利活動法人しがNPOセンターに委託しています。スタートとなった2019年度は以下の団体を助成支援しました。

「活動助成」助成団体（3団体）

- 山門水源の森を次世代に引き継ぐ会（長浜市）：2001年～山門水源の森で保全活動に取り組む
- NPO子育てネットワーク志賀うりぼう（大津市）：2008年～大津市「つどいの広場にじっこ」を運営
- NORA（守山市）：2015年～地元農家と地域のママたちを繋ぐ農業体験などを実施



山門水源の森を次世代に引き継ぐ会：森林整備を効率的に行うための作業道作り。



コープで活動した経験は大きい。生産者、つながりを大切にする考え方はコープで学びました。

NORA：守山市立図書館内の「食育マルシェ」厳選の地元こだわり野菜が並びます。子どもたちが楽しめる工夫がいっぱい。



NPO子育てネットワーク志賀うりぼう：一時預かり保育スタートアップ事業

「はじめて助成」助成団体（5団体）

- Mom's fun「図書館と本でつながる子育て支援事業」
- おてんとさん「八日市おかえり食堂」
- ほっこりや「子どもの健全育成を図る活動」
- フードバンクびわ湖「フードドライブボックス設置事業」
- 菌（くさびら）LABO「菌を通じたツナガリづくりで文化の継承や生活の質を高める会」



Mom's fun：図書館を拠点に、地域の様々な人が交流を持ち、子育てを地域全体で見守る地域づくりを目指して活動されています。

できるコトづくり助成審査委員の声

この制度は、子どもやお年寄りが抱える課題、農業や食文化をめぐる変化、琵琶湖や森の環境問題など様々なテーマについて、個人が身近な課題として考え、取り組みを始めるきっかけになります。また、取り組みを通してコープしがさんや同じ課題意識を持つ仲間と繋がることでさらに豊かな取組みに発展することを期待できます。

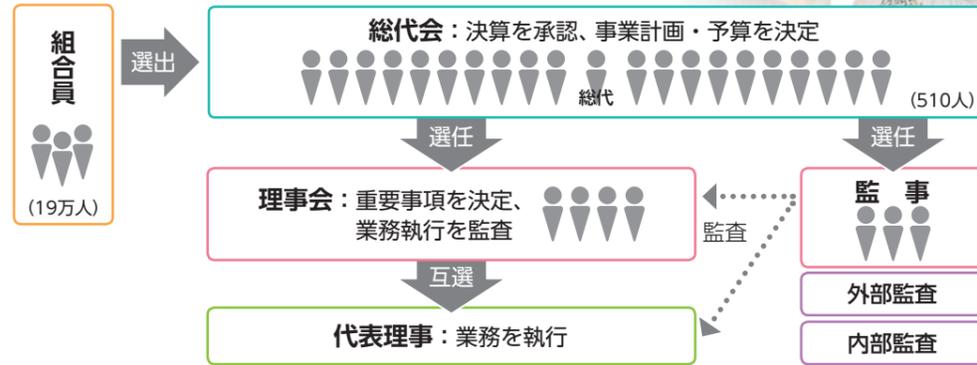
できるコトづくり助成審査委員 平山 奈央子さん
（滋賀県立大学 環境科学部 講師）



生協とは

生協は「生活協同組合」の略で、数ある「協同組合」のひとつです。
消費者一人ひとりがお金（出資金）を出し合い組合員となり、協同で運営・利用します。
「よりよき生活と平和」をめざし、「よりよいものをより安く」「健康で豊かな暮らし」という願いを実現するためにつくった自発的な「協同」「助けあい」の組織です。

● コーポレートガバナンス



機関運営

コープしがの機関は、組合員の代表である総代が方針や事業計画などを決定する**総代会**、総代会で選任された**理事会**と組合を統轄し業務執行する**代表理事**、その決定や業務執行を監視する**監事**で運営を行っています。

理事会

理事会は毎月開催し、総代会で承認された方針の意思決定と代表理事や常勤理事会の日常業務の執行状況を確認しています。

監査

総代会から負託を受け理事会の業務執行を監査する「監事監査」、会計監査法人による「外部監査」、内部監査担当による「内部監査」の三様監査でチェックしています。

総代会



生協の最高意思決定機関です。組合員の代表である「総代」が参加し、「昨年度の取り組みが、組合員の意思に沿って行われたか」「次年度の取り組みが組合員の暮らしに貢献できるか」を判断し議決します。また、定款・規約の改定、役員を選出も総代会で行います。組合員が運営し、議決権を持つもの組合員である「総代」だけです。



● 内部統制基本方針に基づく運営

【コンプライアンス】

「コープしがで働く私たち一人ひとりが、法令及び規則、ルール、社会的規範を守り、すべての利害関係者、とりわけ組合員の暮らしに役立つために行動し、その使命を果たすために全力を尽くす」ことを誓い、コンプライアンス基本方針・自主行動基準を定めています。実践に向けて毎年全職員が学習を行い、セルフチェックで達成状況の確認を行っています。

【リスクマネジメント】

コープしがの全業務に係わるリスクを洗い出し、個々に分析・評価を行い、リスク管理表を作成し発生防止に努めています。全職員にリスク教育を行い、発生防止対策や発生時と収束後の対応をルール化し徹底しています。

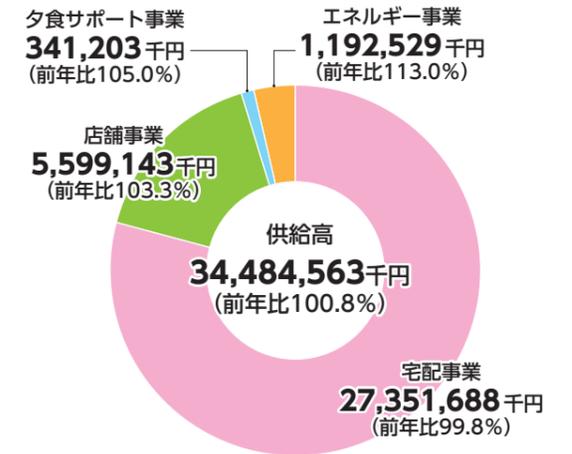
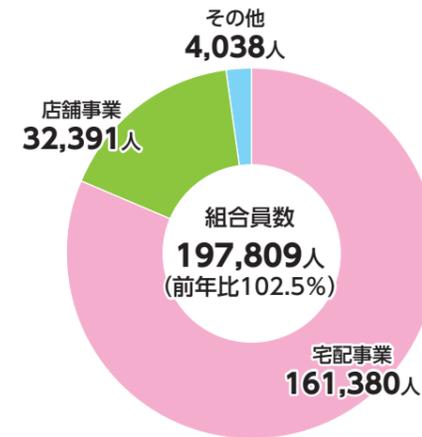
【個人情報保護】

個人情報保護法にもとづき組合員データを適切に管理しています。個人情報は規定やルールを明確にし、適正に取得・利用・管理・廃棄の手順を定め、職員教育を徹底しています。取引先や委託業者には覚書を交わし、安全管理の義務付けと定期的な点検を行っています。

【危機管理】

重大なリスクが発生した場合、速やかに対応するため危機管理規定や危機対応マニュアルを定め、訓練等を行っています。地震や台風など大規模災害の対策は、震災対策マニュアルやBCP（事業継続計画）を整備し、組合員や地域への事業者責任を果たす準備や対策を講じています。

事業概要



出資金

11,934,204千円
(前年比102.8%)

※生協は、一人ひとりの出資金をもとに運営しています。出資金が増えることで、事業が安定し、組合員さんの願いをカタチにする可能性が広がります。

経常 剰余金

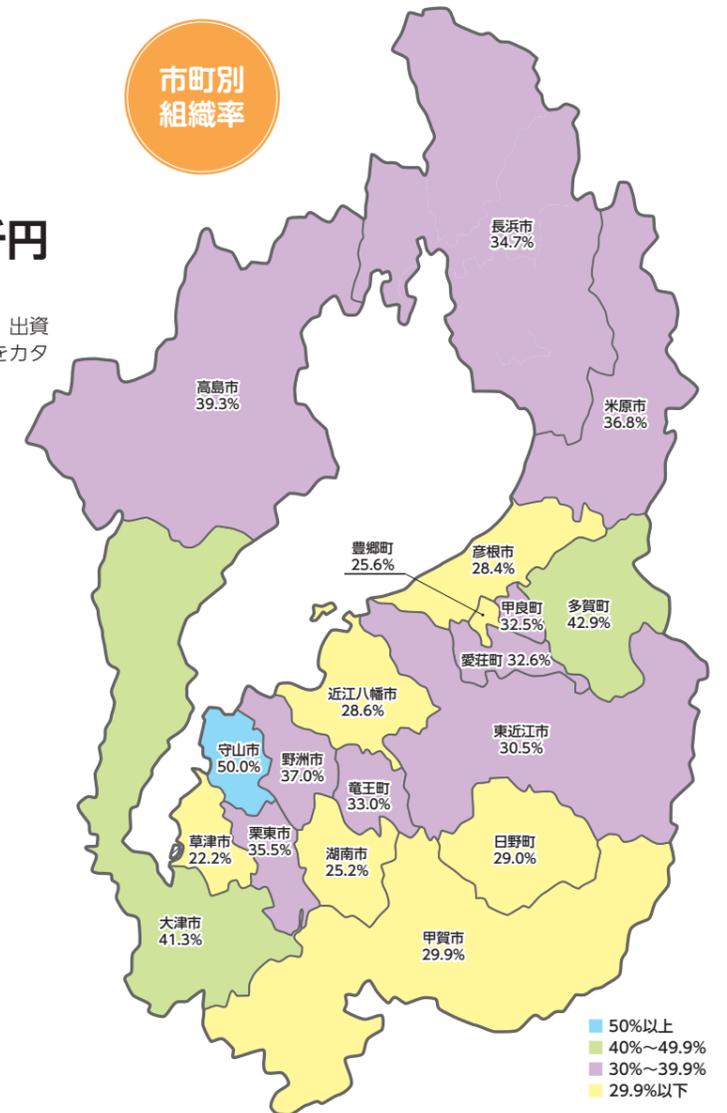
801,117千円
(前年比83.3%)

県 組織率

34.1%

組織率 = $\frac{2020年3月20日現在の組合員数}{2020年3月1日現在の県統計世帯数}$

市町別 組織率



■ 50%以上
■ 40%~49.9%
■ 30%~39.9%
■ 29.9%以下

組合員の声を聞いて



「商品やサービスを利用して気づいたこと」や「くらしの中の困りごと」など、組合員から寄せられる声の積み重ねが、今日のコープしがをつくっています。生協を良くしていくために、組合員の声はとても大切です。声を聴く仕組みづくりにも力を入れています。

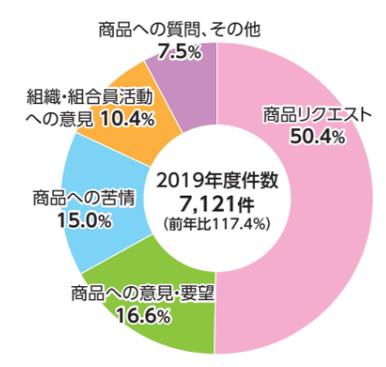
組合員コールセンター

9名～14名のスタッフで、毎日1,000件を超えるお問い合わせや電話での注文に対応しています。コールセンターをご利用の50%が60歳以上の組合員さん。丁寧・的確・スピーディな対応を心がけています。

●2019年度お問い合わせ件数：149,166件（前年比100.9%）

私もひとことカード

宅配の注文と一緒に気軽に提出できるご意見用紙です。商品リクエスト、質問、要望など様々な組合員の声が集まれます。



職員の声

苦情やご意見の電話は、「私たちに何とかしてほしい」「気持ちよく利用できるように改善して欲しい」という気持ちがあること。このような電話が入らないよう誠実に対応することが一番ですが、組合員さんの気持ちに寄り添う「共感」の気持ちから信頼関係が生まれると信じています。

組合員コールセンター 荒井 浩子さん



ぱくぱくパーティ

お友達やご家族とコープ商品を食べながら、生協のことやくらしのことをおしゃべりしてもらい取り組みです。ぱくぱくパーティの商品を生協が無料でお届けし、おしゃべりの内容（ぱくぱくメモ）をご提出いただけます。おしゃべりの中から見えてくる「組合員のくらし」や、「生協への期待」は、方針づくりや運営に活かされています。

また、食から生まれるコミュニティとコミュニケーションが広がることをめざしています。



●参加人数：22,267人
●ぱくぱくメモ：4,882枚

機関会議／組合員活動

生協は、組合員の代表である約500人の総代が、総代会で方針や事業計画を決定します。総代会に向けて総代の声を聴くために、県内23か所で懇談会を開催しました。※今年はコロナウイルスの感染拡大のため、40会場が開催中止となりました。



●総代から出された意見：1,567件

また、県下で展開される組合員活動も、組合員の声が集まる貴重な場です。

組合員の声から実現したこと

宅配では、天候の影響などで急遽予定していた商品（特に野菜など）をお届けできないことがあります。



想いをカタチに(事業)



生協は、組合員が「暮らしをよくする」ためにお金を出し合って創ってきた組織ですから、その役割は、組合員の想いや願いを事業として実現することです。コープしがの商品やサービスの一つ一つが、組合員の想いから生まれています。そして、組合員の広がりとともに、事業も拡大してきました。

宅配事業

生協の宅配システムは、注文した商品が届くのは1週間後。「今の時代ちょっと遅いのでは？」と感じるかもしれませんが、決まった担当者が、決まった時間に、毎週商品をお届けすることで、単に商品をお届けするだけでないお役立ちができると思っています。

※商品をお届けする職員は単なる配送担当ではなく、「組合員担当」と呼び、組合員一人ひとりへのお役立ちをめざしています。

- 宅配のご利用者：103,000人
- 商品のお届け箇所：85,000箇所/週



認知症サポーター講習

高齢化がすすむ組合員の暮らしを見守るため、認知症の正しい知識を持ち、認知症の本人・家族の気持ちを理解できることを目的に、実施しています。全職員が受講しています。

子ども110番の車

コープしがの宅配トラックは、子ども110番の車です。地域のお子さまの見守り活動も行っています。



安全運転への取り組み

過去に起こした重大事故を風化させず、安全運転の意識を高めるために、職員みんなで話し合い、平常心を保ち運転できるように取り組んでいます。

「飛び出し注意」看板の配布

配送車両が見通しの悪い細い道から飛び出してきた子どもさんと衝突し、けがを負わせたという重大事故を機に、再発防止策の一つとして「飛び出し注意」看板の配布をスタート。以来12年で計2,600枚を組合員さんを通して地域に配布しています。



店舗事業

コープのお店は、「おいしさ」「楽しさ」「あったかさ」があふれるお店をコンセプトに、組合員の声に応え、新鮮な商品と品揃えの良さにこだわっています。現在ぜぜ店・もりやま店・かたた店の3店舗ですが、2021年ながはま店開設に向けて準備をすすめています。



- 組合員数：32,391人
- お店に寄せられる組合員の声カードの件数：540件

県内農産商品の普及

※2019年度供給高：81,212,398円（前年比：110.1%）



フードロスへの取り組み

フードエコ推奨店に登録、フードロス削減を呼びかけています。また、フードバンク滋賀との協定により、食品の提供を行っています。※フードエコ推奨店：滋賀県がすすめる食品ロスを減らす県民運動「三方よし!!」でフードエコ・プロジェクトの一環として、食品ロス削減に取り組む飲食店、宿泊施設、食料品小売店に登録を呼びかけているもの。



お店でのお買い物をサポートするしくみ

- お買い物代行：電話でご注文された商品を、ご自宅にお届けするサービス（年間利用数：1,015件）
- お買い上げ配達：お店でお買い物された商品を、その日の夕方までにお届けするサービス（年間利用数：2,911件）
- お買いものサポートカー（登録者数：206人）
 - ➔ 食料品などのお買い物が不便な方を対象に、お車でお店まで無料送迎するサービス。コープぜぜ店とコープかたた店で実施しています。



職員の声

「お買い物送迎サービス」をご利用いただいている組合員さんは、みなさんとても楽しそうにお買い物をされます。「この商品がおいしかったわ」「今度買ってみるわ」などレジ担当の私にも話しかけてくださいます。人との交流や社会的つながりに役立っていることが大変嬉しいです。

コープかたた店 佐々木 いづみさん



想いをカタチに(事業)



産直

生産の現場と消費をつなぐコープしがの産直は「産地直結」。安全安心で持続可能な生産を生産者・組合員・生協がともにめざします。

- 供給点数：4,512,274点
- 供給高：908,762,639円



コラム

エシカル消費の推進

持続可能な社会のために、地域・環境・社会・人々に配慮したお買いものを「エシカル消費」と位置づけ、エシカルな商品の普及に努めています。

- 地域**：豊かな地域を作り出す（生産者支援・被災地支援など）
- 環境**：地球環境を守る（持続可能な地球・社会づくり）
- 社会**：公平な社会の仕組みづくり（地域インフラの改善・社会公正の実現）
- 人々**：人々の「生きる」を支える（ハンディキャップを持つ人々の支援）



供給点数：14,312,824点 供給金額：4,000,561,657円

サービス事業

コープしがの事業だけで、組合員の暮らしを支えることはできません。しかし、「確かな事業者に依頼したい」という組合員の願いを実現するために、1件1件提携事業者を増やしてきました。サービス事業で紹介する商品やサービスは、職員が事業者を訪問してサービスの品質を確かめています。

(一例)



布団の打ち直し・丸洗い



リフォーム



ハウスクリーニング



車検

夕食サポート事業

ご高齢、ひとり暮らし、夜勤勤務、共働き、育児などで忙しく、毎日の夕食に困っている組合員に、夕食のお弁当を組合員（サポーター）がお届けする組合員どうしの助け合いです。利用者の声と生活スタイルから、種類や内容は充実してきました。



共済事業

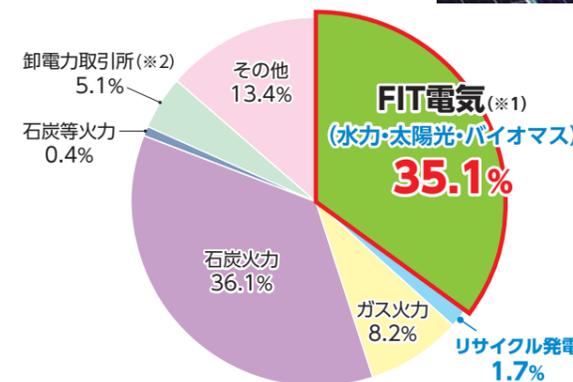
組合員のくらしの安心を広げるCO・OP共済

共済とは、協同組合が行なう非営利の保障事業で「組合員同士、お互いさま」の気持ちを生かす、組合員のための助け合いの制度です。
CO・OP共済は、組合員の意見や要望によって充実してきた身近で安心な保障です。



エネルギー事業

コープでんきは、再生可能エネルギー100%のゼロでんきをはじめ地球に優しい電気をお届けしています。



コープでんきの電源構成

2018年4月1日～2019年3月31日の調達電力量(kWh)実績値

コープでんきのFIT電気 (再生可能エネルギー)の比率 35.1%
コープでんきの利用件数 11,368件

※1 当社がFIT電気を調達する費用の一部は、当社のお客さま以外の方も含め、電気をご利用のすべての皆さまから集めた賦課金や非化石価値取引市場における非化石証書の売却収入により賄われていて、この電気のCO₂排出量については、火力発電なども含めた全国平均の電気のCO₂排出量を持った電気として扱われます。
※2 市場調達の電気（卸売り取引所5.1%）には、水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーが含まれます。

介護事業

コープしがは、福祉を「一人ひとりの人が社会的つながりの中で、その人らしさをもって幸せに生きること」ととらえ、組合員、地域の方々とともに「暮らしを創造する福祉」をめざしています。

ケアサポートセンターぼこ野洲（訪問介護・居宅介護支援・介護保険外サービス）

職員の声

住み慣れた自宅では、ご利用者が主人公のその人らしい暮らしがあります。ご利用者が望まれる「今まで通りのご自宅での生活」。時間をかけ、丁寧に関わり最後まで支援していくことが、訪問介護の醍醐味だと感じています。

ヘルパーステーションぼこ野洲 塩田 明子さん



共に学び続ける

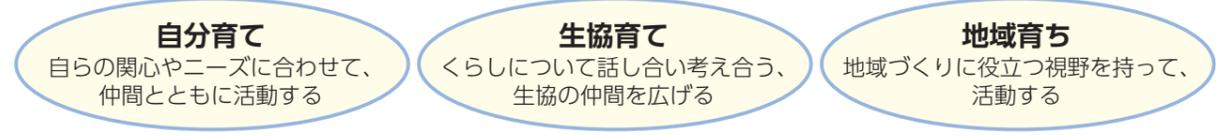


生協は、誕生以来「学び」を大事にし続けてきました。中でも「組合員活動」は、生協ならではの学びの場です。くらしは、たくさんの人のつながりで成り立っていて、その状況は日々変化しています。誰もが安心して笑顔で暮らせる社会をめざして、組合員・職員・生産者と共に学び続けます。



学びの先にあるのは、「安心と笑顔にあふれるくらし」です。

自助・共助の組織である生協では、「安心と笑顔あふれるくらし」の実現に向けて主体的に関わることの大切さを、組合員が（組合員）活動で学びます。



5つのたいせつ

- たべるたいせつ
- くらしたいせつ
- ちいきたいせつ
- いのちたいせつ
- びあこたいせつ

誰もが安心して笑顔でくらすための学びの視点を「5つのたいせつ」として、組合員と共に取り組んでいます。

たべるたいせつ

テーマ：生産現場・栄養・食文化・食育など



びあこたいせつ

テーマ：環境保全・自然体験・エネルギー・エコくらしなど



いのちたいせつ

テーマ：人権・健康・平和など



くらしたいせつ

テーマ：居場所づくり・防災・被災地に寄り添う活動など



ちいきたいせつ

テーマ：地域づくり

コープしがのほとんどの組合員活動で「託児」が利用できます。お子さんたちを預かるのは、登録している組合員（託児協力員）です。子育て中のママたちの学びの時間を支えています。



託児協力員の声

少しの間でも、ママの顔でなく個人として活動されるのを応援するつもりでお手伝いしています。

託児協力員歴6年 加藤 淳美さん



託児利用者の声

ふだん子どもとベッタリなので、子どもと離れてママたちと過ごせる時間は貴重です。

笹川 知佐子さん



つながり



生協は、「おたがいさま」「ささえあい」の精神を大切にしています。私たちのくらしは、人のつながりでできています。組合員・職員・生産者・地域…一人ひとりの小さな点のつながりが面となって広がり、「ともにつくる 笑顔あふれる未来」の実現をめざします。

生産者と共に

生協の「産直」は「安全で安心な食品を食べたい」という組合員の願いを実現するために、生産者組織と生協が直接手を結んだ産地直結の取り組みです。お互いの対等・自立を基礎としたパートナーです。産地や生産者との率直・正直なコミュニケーションを通して生産実態を把握し、生産者と消費者の交流を通して新たな担い手づくりに貢献します。



産直・県内農産基金

産直商品・県内農産物の年間利用点数×1円を、その年の剰余金から積み立て、産地が被災した時のお見舞い金や交流費用に活用しています。

●2019年度積立額：9,055,312円



台風19号被害へのお見舞い (多古町旬の味産直センター)

全国生協の仲間とともに

台風19号災害で大きな被害を受けた長野県と宮城県の生協から日本生協連を介して、全国の生協へ被災地支援活動の呼びかけがありました。コープしがからもそれぞれ1名の職員を派遣しました。

参加職員の声

被害にあわれた農家のみなさんを救うため、「力を合わせれば何とか乗り越えていける」「困っている時はお互いさま」という気持ちが行動になっている姿を見てマンパワーの凄さを実感しました。
草津センター 香村 朋周さん



組合員とともに

組合員どうしのささえあい「ささえあいサポート」

組合員どうしが「おたがいさま」の気持ちで支え合う有償の相互扶助制度で、スタートから13年になります。

●サポーター組合員数：1,890人



マンションドアの付け外し

2019年度サポート内容(分類別)	
家事援助(産前産後含む)	1,045件
掃除・片付け	858件
草取り・水やり・庭木の剪定	399件
ペットの世話	319件
高齢者の話し相手・付き添いなど	160件

地域と共に

事業活動を活かした見守り活動

宅配や夕食サポート弁当の配達は、滋賀県全域をカバーしています。コープしがだからこそできる地域貢献として、自治体との見守り協定をすすめています。

行政との見守り協定

米原市	絆で築く安心なまちづくりに関する協定	2012年10月 3日
草津市	「安心」が得られるまちづくりに関する協定	2013年 3月28日
長浜市	長浜市・地域の安心見守り活動に関する協定	2013年 6月20日
高島市	見守りネットワーク事業に関する協定	2014年 3月26日
近江八幡市	近江八幡市高齢者安心見守り活動に関する協定	2014年 8月25日
彦根市	彦根市高齢者安心・安全ネットワーク活動に関する協定	2015年 3月30日
愛荘町	地域の見守りネットワークに関する協定	2015年12月16日
甲良町	甲良町「安心」が得られるまちづくりに関する協定	2016年 4月20日
多賀町	地域の見守りネットワークに関する協定	2016年10月17日
野洲市	野洲市見守りネットワーク協定	2017年 3月28日
大津市	大津市高齢者等地域見守りネットワーク事業に関する協定	2017年11月16日
滋賀県	高齢者に向けた消費者被害防止のための啓発に関する協定	2016年11月30日

子育て中のお母さんの見守り

2つの自治体から業務委託を受けて、1歳未満の子どもがいるご家庭に、毎月おむつなどを届けています。子育て経験のある専任スタッフが、子どもやお母さんの健康状態の確認・悩みごとの相談など、孤独になりがちな子育て中のお母さんを支援しています。甲良町「見守りおむつお届け便」/ 東近江市「見守りおむつ宅配便」



キッチンカー健康教室

平均寿命と健康寿命の差をどう埋めるかは、社会の課題です。食を支えるコープしがができるお役立ちとして行っている出前型の健康教室です。(無料)

●2019年度開催回数：137回



学生との取り組み

滋賀県立大学人間文化学部生活栄養学科の「食育推進隊」の学生とともに、食と健康に関する取り組みをしています。

●産直商品を使ったレシピの開発

2019年度は、滋賀の生きくらげを使ったレシピを考案いただきました。

●食事バランスチェックの開催

コープもりやま店で開催している「食事バランスチェックと骨密度測定」は、3年目になります。学生さんの、参加者に寄り添ったアドバイスが人気のイベントです。



食育推進隊の学生さん



食事バランスチェックの様子



笑顔あふれる未来のために



組合員の暮らしに役立つ事業と活動の担い手としての人材確保と育成は、重要です。笑顔あふれる未来の実現に向けて、人づくり・働きがいのある職場づくり・安心して働ける職場環境の整備・業務の効率化などに取り組んでいます。また、産地と消費をつなぐだけでなく、生産の現場に直接関わる取り組みもすすめています。

株式会社みんなの牧場

日本の酪農が衰退の一途をたどる中、私たちの食を支える産直産地の牛乳や牛肉の生産を維持するために、生産者・行政・生協などが共につくった牧場です。良質な牛乳の確保・安い和牛肉の提供・機械化による合理化をめざしています。

現在約420頭の作乳牛から毎日約12~13トンの生乳を生産、鳥取県内で生産された原乳とあわせて、コープしがの「生協牛乳120」として組合員に届いています。



ロータリーパーラー

株式会社ハートコープしが

コープしがと生産者が出資して設立した農福連携による雇用の創出と循環型社会の実現をめざして設立したコープしがの子会社です。リサイクル・グリーン部門では、オリコン洗浄やリサイクル品の加工、食品残さを利用したたい肥製造などを行っています。農業部門では、食品残さから作ったたい肥を利用して小松菜やほうれん草を栽培しています。



組合員の力を合わせて

「誰も取り残さない」SDGsの精神は、「募金」というカタチで組合員に広がっています。

募金 募金は、誰かのために「私にできるコト」です。1人の小さな力が大きな力となって、誰かの笑顔につながることを願います。

2019年組合員が取り組んだ募金

- ユニセフ募金 一般募金 2,766,487円(4,841人)
- ハンガー・フリー・ワールド 書き損じハガキ回収キャンペーン 3,896,047円(2,475人)
- 平和募金 (ピースアクションinヒロシマ、県内戦争遺跡めぐり、沖縄戦跡・基地めぐり) 547,778円(1,044人)
- 東日本大震災復興支援募金 (暮らし・地域復興応援募金) (毎月11日の週) 889,885円(1,641人)
- NPT再検討会議被爆者活動支援募金 456,059円(843人)
- 緊急支援募金
 - 2019年8月九州北部豪雨災害募金 1,775,153円(2,771人)
 - 2019年台風15号千葉県災害募金 1,515,918円(2,384人)
 - 2019年台風19号被害緊急支援募金 3,562,019円(4,395人)



©UNICEF/UN120414/Brown

商品を利用することで、誰かの笑顔につながるなら…

- 滋養応援寄付 (1kg当たり1円)
 - 利用登録米の商品利用寄付 305,106円
- サンゴ再生もずく基金 (産直恩納村もずく) (1点当たり1円)
 - 美しい海の環境を守る運動・珊瑚再生事業寄付金 53,736円

全国の生協とともに取り組む募金

- CO・OPレッドカップキャンペーン 5,730,030円
- CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト 11,190,225円

働きがいのある職場づくり

私たちは、組合員のくらしづくりに貢献する使命をもっています。各々に与えられた役割や職責を全うしていくために、コープしが職員像をもとに「コープしが職員人財育成方針」を定めています。

コープしが職員像 コープしがの職員は一人ひとりが自立し集団の力で前進します

三つの心得

- さわやかな笑顔で元気良く挨拶します
- 約束や職場のルールは必ず守ります
- 誰にでも正直、親切、丁寧、素直に接します

行動綱領五箇条

- 人の傷みがわかる心もち、地域社会に奉仕します
- 常にコスト意識もち、ムダ・ムラ・ムリをなくします
- いかなる仕事も情熱をもって最後までやり遂げます
- 豊富な知識を身につけるため、努力を惜しみません
- 健全な精神、健康な身体を維持します



安心して働ける職場環境の実現

コープもりのこ保育園

働き続けられる環境づくりの一つとして、2018年7月に開園しました。家庭的な雰囲気のもと、生活や楽しい遊びを通して、子どもの豊かな人間性を育てています。



職員が関わり合い学び合う組織風土づくり

●実践事例報告会

1年間の仕事の中で、同僚や組合員との関わりから学んだことを、全職員で共有しています。

●コープしがカレッジ

協同組合に関わる人として、その役割を果たすために「人」や「コト」から学び、ものの見方・考え方を広げることを目的に開催しています。

●琵琶湖清掃ウォーク

組合員と職員が共に清掃活動を通して、琵琶湖の大切さを学ぶために開催しています。2019年は約500人が参加し、大津湖岸なぎさ公園を往復2キロにわたってごみを拾いながら歩きました。

●農産産直産地の職員研修

産直生産物の良さを学び、生産者の思いを知るために、実践しています。



コープカレッジ：テーマ「市場、流通の現状、将来展望と生協の課題」

職員の声

産地研修では、「食卓でおいしいと言ってもらえるように思っただけで、一番大事」という生産者の言葉がとても印象に残っています。生産者の思いを余すことなく組合員さんに伝え、生産者・組合員さんの笑顔の輪を増やしていきたいです。

長浜センター 中川 凌輔さん



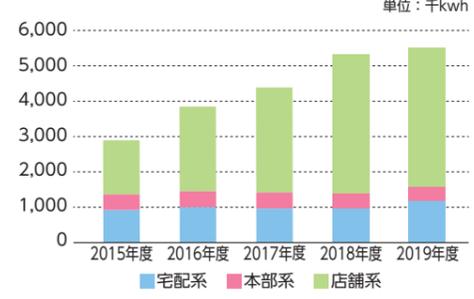
事業における環境報告

コープしがは「2020年度に向けた新たな環境政策」に基づき、事業と活動の両面で地球温暖化防止や自然環境の保全、廃棄物の削減などの取り組みをすすめています。「環境マネジメントのシステム」を独自運用して環境管理に取り組んでいます。

● エネルギーの効率的な使用とCO₂排出量の削減

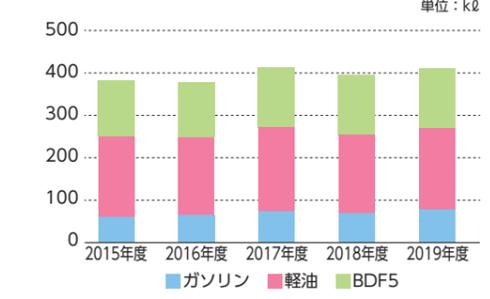
[エネルギーの効率的な使用]

■ 電気使用量



電気使用量の目標は、一部の宅配センターを除き前年度維持を目標に取り組みました。宅配センターの一部で新たな冷媒を運用したため、使用料は前年比3.2%の増加となりました。

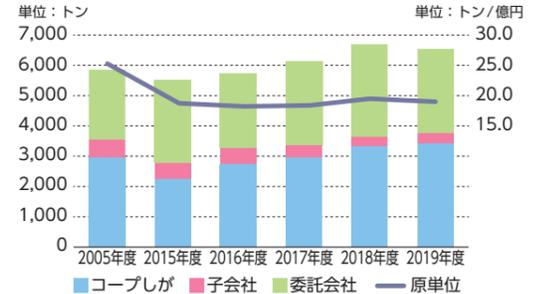
■ 車両燃料使用量



車両燃料は、ガソリン使用量の目標を前年度維持として取り組みましたが配送メイトコースの増車や事業活動推進により、前年比114.4%と超過しました。BDF燃料を5%配合した「BDF5」の割合は年々増加しています。

[CO₂排出量の削減の取り組み]

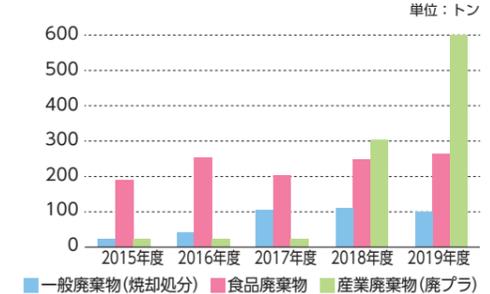
■ CO₂排出量 (組織別)



全体としては前年比97.8%と減少しました。コープしがは、もりのこ保育園の開設・委託コースからの移行によるコース増加などで前年比102.9%となっています。子会社は(株)ハートコープしがの発足に伴い、前年比106.2%となっています。

[事業活動による廃棄物の削減]

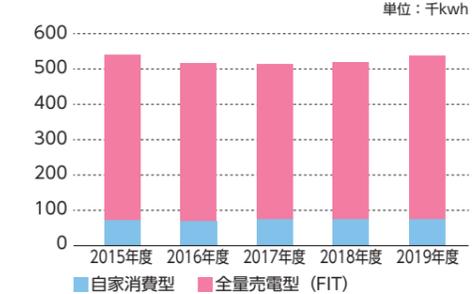
■ 廃棄物排出量



廃棄物は事業系の一般廃棄物は減少したものの店舗事業、青果加工センターからの食品廃棄物の増加により全体で増加しました。2019年度から稼働したハートコープしがによるリサイクル活動が一部停止した間、廃棄物として処理したため廃プラが大幅に増加しました。

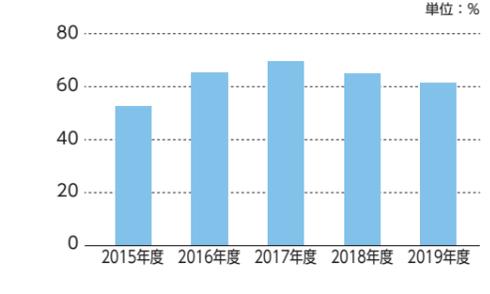
[再生可能エネルギーへの取り組み]

■ 太陽光発電発電量



[グリーン購入の推進]

■ グリーン購入率 (事務用品)



環境に配慮した商品の普及実績

エコマーク認証 供給高:215,268,249円(113.2%) 供給点数:609,821点(108.8%)	FSC 供給高:497,006,574円(152.7%) 供給点数:960,449点(180.6%)	MSC 供給高:115,773,556円(88.7%) 供給点数:319,782点(91.4%)	ASC 供給高:2,448,322円(239.9%) 供給点数:5,304点(477.8%)
MEL 供給高:25,209,290円(300.8%) 供給点数:57,100点(286.5%)	オーガニック 供給高:51,063,670円(102.1%) 供給点数:139,777点(92.4%)	特別栽培 供給高:74,571,408円(85.6%) 供給点数:309,130点(87.5%)	レインフォレスト 供給高:78,535,232円(116.9%) 供給点数:284,938点(116.5%)
CFP 供給高:158,324,213円(106.9%) 供給点数:262,256点(98.0%)	洗剤環境寄付キャンペーン 供給高:33,225,623円(107.1%) 供給点数:55,644点(88.9%)	RSPO 供給高:21,023,063円(128.8%) 供給点数:39,427点(144.5%)	スラウェシ島エビ養殖改善協力金 供給高:66,250,628円(-) 供給点数:88,074点(-)

(カッコ内は前年比)

循環型社会をめざして

*牛乳パックは、ただいまロール・おかえりティッシュに、たまごパックとペットボトルは、たまごパックにリサイクルされます。

リサイクル回収実績 (2019年4月～2020年3月) ●2019年度リサイクル売却実績 **66,223,737** 円 (前年比110.6%) ()は前年比

共同購入回収物			
牛乳パック 年度累計 51,030kg (101.1%)	たまごパック 年度累計 21,457kg (93.0%)	共同購入案内書 年度累計 3,307,180kg (101.3%) 回収率 83.6%(前年+12.8%)	商品仕分け袋 年度累計 34,686kg (100.3%) 回収率 31.8%(前年±0%)
店舗回収物			
ペットボトル 年度累計 20,064kg (121.9%)	ペットボトルキャップ 年度累計 1,392kg (108.8%)	トレー 年度累計 4,230kg (114.4%)	牛乳パック 年度累計 9,160kg (115.9%)

コープしがの概要

(2020年3月20日現在)

名称 生活協同組合コープしが
設立 1993年3月21日
 滋賀県内4生協が合併して発足。(大津生協・湖南生協・東部生協・北部生協)
本部 滋賀県野洲市富波甲972番地 TEL 077-586-1112 (代表)
理事長 白石 一夫
専務理事 高橋 剛太
組合員数 19万7,809人
加入率 34.1%
出資金 119億3,420万円
供給高 344億8,456万円
 (内訳) 宅配事業 273億5,168万円
 店舗事業 55億9,914万円
 夕食宅配 3億4,120万円
 エネルギー事業 11億9,252万円

職員数 総合スタッフ 297人
 エリアスタッフ 79人
 シニアスタッフ 18人
 嘱託スタッフ 29人
 専属スタッフ 25人
 定時スタッフ 780人
 (フルタイム換算 307.1人)
 ※定時スタッフ数にアルバイト含む



コープしがの事業所・事務所一覧

本部・事務所・その他施設

野洲本部	野洲市富波甲972
ゆめふうせん	大津市真野5-33-25
草津事務所	草津市西草津2丁目1-1
ケアサポートセンター ぽこ野洲	野洲市富波甲972

店舗

コープぜぜ店	大津市竜が丘1-1
コープもりやま店	守山市勝部3丁目15-30
コープかたた店	大津市衣川1丁目17-1

宅配事業センター

南草津センター	草津市笠山5丁目3-50
北大津センター	大津市真野5-33-25
草津センター	草津市上寺町カスリ281-1
中央大津センター	大津市国分2-226-22
甲南センター	甲賀市甲南町市原303-6
東近江センター	東近江市五個荘清水鼻町153-6
長浜センター	長浜市西上坂町1020-1
彦根センター	彦根市竹ヶ鼻町224-1
高島センター	高島市新旭町新庄799

コープしがのグループ会社



株式会社シガフードプロダクツ

所在地: 甲賀市甲南町寺庄330
事業内容: 食肉加工およびパック加工済み商品・畜肉加工品の販売
設立の目的: 生肉の生産、流通および加工までを一元管理し、安全・安心・良質な肉を適正価格で安定供給するため



株式会社タクス

所在地: 野洲市富波甲972
事業内容: 保険代理店業、不動産事業、旅行事業
設立の目的: 組合員の暮らし全般をサポートするため、生協では扱えない事業分野での事業展開を図るため



株式会社コープシステムサービス

所在地: 近江八幡市長光寺町瓶割山95-4 (AZ-COMロジスティック滋賀内)
事業内容: 産地パックの全量点検業務、原料加工業務、店舗輸送元請け業務、チケッット仕分け転送業務
設立の目的: 流通に関する専門的なノウハウを導入し、適切な物流管理の遂行およびコープしがの物流費をコントロールするため



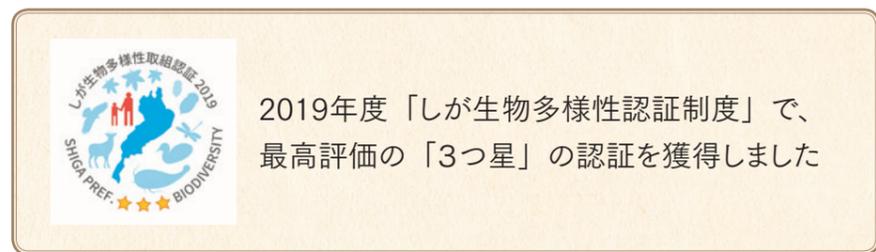
株式会社ハートコープしが

所在地: 野洲市富波甲963-1
事業内容: 農産物の生産・加工・販売、宅配商品通い箱等の洗浄作業受託、食品循環資源等の再生利用作業受託
設立の目的: 障がいのある方々の「働きたい」願いや自立の手助けの場を提供するため



株式会社滋賀有機ネットワーク

所在地: 近江八幡市長光寺町瓶割山95-4 (AZ-COMロジスティック滋賀内)
事業内容: 穀類・野菜類・果物類の生産と加工、農作業および農業経営の受託、野菜・果樹類の保管管理、農産物の配送
設立の目的: 県内での産直有機農産物の産地づくりの推進と、農産物の物流拠点を確立するため



コープしがへの期待と受けとめ、これからもSDGsにもとづく事業と活動を組合員のみなさんとともにすすめていきます。

生活協同組合コープしが

<https://www.pak2.com/>



- 用紙：責任ある木質資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量：302.6g/部